

きんもくせい

開院10周年

新しい仲間とともにさらなる高みへ



今から10年前の平成25年5月1日。当院は全国初となる掛川市と袋井市の2つの市立病院の統合によって誕生しました。そして令和5年5月1日。地域の皆さま、地域の医療機関や関係機関の皆さまのご協力と温かいご支援のおかげで当院は開院10周年を迎えることができました。この場を借りて心よりお礼申し上げます。

さて、開院10周年の節目の年、当院に70名の新しい仲間が加わりました。今年4月には、質の高いがん診療を行っていることが認められ、厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けることができました。10周年を迎えたこの先も、さらなる高みを目指します。

本年度も職員一同、中東遠地域の基幹病院としてすべての人に質の高い医療を提供し、愛され、信頼される病院を目指し、職務に励んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。 [中東遠](#) [検索](#)

スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください



〒436-8555
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

TEL 0537-21-5555



開院10周年

統合して成し得たこと、今後成し得ることも

二つの市立病院同士が統合するという、日本で初めての大きな苦難を乗り越え開院した当院は、多くの皆さまの温かいご支援を受け、開院から10年を迎えることができました。皆さまはどのように当院を評価されているでしょうか。

この10年間でできたことがあります。断らない救急医療を行うことができ、今ではドクターカーで院外にまでも活動を広げ、多くの人を助けることに情熱注いでいます。救急ではほぼすべての診療科に対応できます。今後は心臓外科チームを導入し、救急医療を強化していくことを考えています。

開院後も医師不足は当院の大きな課題です。しかし、若い医師を集め、教育し、成長させることができ、当院の研修医は日本トップクラスまでに優秀に成長しました。彼らの若い力も得て、当院は新型コロナウイルス感染症にも立ち向かい、地域、さらには県の感染医療に大いに貢献しています。

この地域ではがん治療のために、他の医療圏に医療を求めて移動される患者さまが多くいます。当院はこの4月に指定承認が極めて困難な「地域がん診療連携拠点病院」に指定されました。開院から当院の職員が「がん治療能力を高め、多くの患者さまに対し高度ながん治療、ケアを行うことができるように



企業長兼院長 宮地 正彦

なったことが認められました。今後も、さらに良い医療、ケア、支援ができるように努力していきます。

これからの10年は心筋梗塞や脳卒中をはじめ、救急、がん、アレルギーなどを含む一般診療を今以上に強化していきます。また生活習慣病の予防、がん、認知症、うつ病の早期発見、リハビリ、口腔ケア指導など、多様性、多機能を有する人間ドック検診を行い、病気の予防、早期治療を行いたいと考えます。また在宅療法、スポーツ医療、自殺予防などの院外での活動を広げていくことも考えています。

新たなチャレンジを恐れず、進化し、皆さまに愛され信頼される病院であり続けていきたいと思っています。

がんと共に生きる 住み慣れたこの場所で

日本人の2人に1人ががんになる時代。いざ自分や大切な人ががんになったとき、住み慣れた地域で安心して治療に臨むことができれば、不安な気持ちも少しは和らぐかもしれません。

これまでもがん診療に積極的に取り組んでまいりましたが、開院10周年を迎え、地域の方が住み慣れた場所でも高度で良質ながん治療が受けられるよう、これまでにがん診療に力を入れて取り組んでまいります。

「地域がん診療連携拠点病院」に指定

当院は、今年4月1日付で「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。「地域がん診療連携拠点病院」とは、全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、専門的ながん医療の提供や地域連携体制の構築、がん患者・家族に対する相談支援及び情報提供等を行い、地域の拠点として十分ながん診療機能を有する病院を厚生労働省が指定するものです。今回の指定は当院が開院からがん診療の充実に向け取り組んできたことが評価された結果とも言えます。

掛川市、袋井市、磐田市、森町、菊川市、御前崎市の5市1町を合わせて中東遠医療圏と呼びますが、人口

46万人の中東遠医療圏を支える2つの基幹病院である当院と磐田市立総合病院は連携しながら診療にあたっています。当院が地域がん診療連携拠点病院に指定されたことで、すでに指定されている磐田市立総合病院と合わせて、中東遠医療圏の地域がん診療連携拠点病院は2つになりました。これにより、より一層の連携が強化されるとともに、互いに強みとしているがんの領域を補い合うことによって、がん治療の選択肢が増えることにつながります。

住み慣れた地域で治療・相談・支援

がん治療の3本柱は、手術・放射線治療・薬物療法です。

当院では平成29年に中東遠医療圏で初めて手術支援ロボット(※)を導入し、前立腺手術から適用を始め、直腸、結腸と手術範囲を拡大しています。放射線治療や薬物療法についても、がん専門のスタッフを配置しており、治療の件数は年々増加しています。当院には多くの科にがんを専門とした医師が在籍していますので、安心して治療を受けることができます。

がんに対する取り組みは治療だけではありません。患者さまやご家族の不安、悲しみ、怒り、いろいろな感情に寄り添いサポートをする「がん相談支援センター」があります。患者さまやご家族同士ががんの悩みや体験などを語り合い交流できるがん患者会「ぬくもりの会」も定期的に開催しており、身体だけではなく、心のサポートにも力を入れています。

がんになっても、住み慣れた場所で自分らしく生きることが出来ます。お気軽にご相談ください。

早期発見が治療の鍵

どんなに健康に気を付けていたとしても、誰でもがんになる可能性はあります。がんは早期発見することができれば、治る可能性が高い病気です。当院は中東遠地域で唯一PET/CTを保有しており、PETがん検診(※)を受診いただけます。このほかに、人間ドック・健診センターではより多くの方に受診いただけるよう、令和5年3月よりWEB予約の開始、令和5年4月より腫瘍マーカー検査の新規オプション追加、さらには、令和5年4月から7月までに人間ドックまたは協会けんぽ生活習慣病健診を受診される50歳以下の方の胃がんリスク検診無料キャンペーンといった、新たな取り組みを始めています。詳しくは当院ホームページをご覧ください。

定期的に人間ドックや健康診断、がん検診を受診し、がんの早期発見と早期治療に努めましょう。

※手術支援ロボット・・・患者さまの体に負担の少ない腹腔鏡手術で、狭い空間の中でも細かな操作ができ、3D画像で立体感に基づいた手術をすることができます。

※PETがん検診・・・痛みや体の負担が少なく一度の検査で全身(頭部・大腿上部)を調べることができ、今まで見つかりにくかった小さながんを早期に発見できる可能性のある検査です。(PETがん検診は全身スクリーニング(下肢を除く)として有用な検査ですが、全てのがんが抽出されるわけではありません。)

人間ドック・
健診センター
のご案内



▲詳細はこちら



▲ 4月4日「地域がん診療連携拠点病院」指定の会見の様子
(左から) 久保田掛川市長、宮地企業長兼院長、大場袋井市長

組織変更

診療科 集中治療科を新設

重症の患者さまや大きな手術を終えた方などに、より安定した集中治療を行います。

事務部門 診療支援室を新設

患者さまのサポートや医師の負担軽減のために集中的に取り組めます。

掛川市及び袋井市をはじめとする中東遠地域の基幹病院として、
すべての人に質の高い医療を提供し、愛され、信頼される病院を目指します。

看護部通信

あなたらしく生きることを支えるために ～がんと診断された早期からの緩和ケア～

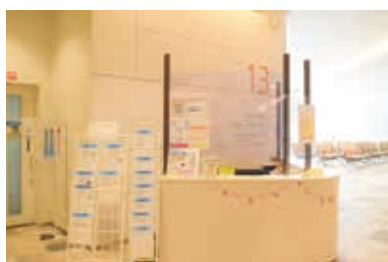
「緩和ケア」と聞くと皆さんはどのようなイメージを持つでしょうか？終末期の医療というイメージがあるかもしれません。緩和ケアは、がんが進行してからではなく、がんと診断されたときからいつでも受けることができます。

がんになると、身体のことだけでなく、治療のこと、仕事のこと、家族のこと、経済的なことなど、色々な不安やつらさを経験します。緩和ケアは、がんに伴って起きる身体と心の痛みを和らげ、患者さまとご家族が「自分らしく」過せるように、継続的に支えていくケアです。当院では、痛みなどのつらさや今後の治療、療養に対する不安、治療費や仕事のことなど、様々なつらさに対し、医師や看護師、薬剤師、栄養士、社会福祉士、精神福祉士、理学療法士と様々な職種がチームとなってサポートしています。

身近な人に自分の気持ちを話すことができているでしょうか？がんのつらさを医師に伝えることができているでしょうか？患者さまの中には、医師に自分の気持ちを伝えられず、つらさを抱え込んでいる患者さんもいます。余計なことを言って面倒な患者だと思われたくない、良い患者でありたいと思う気持ちがあるかもしれません。緩和ケアチームは、主治医との架け橋にもなります。ご家族に自分の弱いところを見せたくないと思う方もいらっしゃるでしょう。家族には言えないことでも何でもお話ししてみてください。またご家族も同様にご相談ください。問題が解決するように一緒に考えていきます。

当院には、がん相談支援センター（当院外来1階13番が窓口）があります。直接面談のほか、電話相談も行っております。面談の際はご予約いただくと、待ち時間が少なくスムーズにご相談いただけます。一人で抱え込まず、お気軽にご相談ください。

緩和ケア特定認定看護師 櫻井 尚子



がん相談支援センター

問合せ 0537-28-8159（直通）

受付時間 午前8時15分～午後4時（土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く）

対象 がん患者さまやご家族だけでなく、どなたからのご相談でもお受けいたします。

相談方法 面談、電話

職員を募集しています！

当院では様々な職種で職員を募集しています。
経験や資格がなくても働ける職種もありますので、医療に興味がある方は、ぜひ当院のホームページをご覧ください。

募集中の職種

正規職員

薬剤師、助産師・看護師

会計年度任用職員（非常勤職員）

薬剤師、看護師、視能訓練士、
メディカルエイド、医師事務作業補助者



▲ 活躍する若手薬剤師



▲ メディカルエイド



▲詳細はこちら

第39回 医療市民講座～がん講習会～のご案内

「外科のロボット支援手術」や「肺がん」をテーマに医療市民講座を以下のとおり開催いたします。

日 時 令和5年6月17日（土） 午前10時～正午

場 所 袋井市月見の里学遊館うさぎホール（袋井市上山梨4-3-7）

申込み期間 5月15日（月）～6月16日（金）



▲詳細はこちら

病院ボランティア募集

未経験の方でも大歓迎です。お気軽にお問い合わせください。

※感染状況によって、活動を制限することがあります。

活動内容

- ・院内の案内
- ・車いすの介助
- ・院内ディケアの補助
- ・環境美化作業

参加条件

- ・月2回以上活動できる方（1回2時間程度）
- ・心身ともに健康な方



応募・問い合わせ

管理課 施設庶務係
電話：0537-21-5555（代）

◆詳細は病院ホームページをご覧ください。



3月の 診療実績

1日あたりの患者数		
	入 院	398人
	外 来	1,149人
紹 介 率	85.1%	
逆 紹 介 率	113.1%	
病 床 利 用 率	79.6%	
平 均 在 院 日 数	8.8日	
手 術 件 数	546件	
救命救急センター受診者数	1,242人	
救 急 搬 送 件 数	512件	

● 医師異動のお知らせ ●

3月31日付 退職

総合内科 伊藤 裕司
呼吸器内科 長崎 公彦
呼吸器内科 太田 智陽
外科 日比野 貴文
整形外科 西 恵佳
脳神経外科 堀田 龍矢

産婦人科
泌尿器科
眼科
麻酔科
麻酔科
救急科

江藤 千佳
鈴木 英斗
熊切 理実
伊藤 純哉
大元 美季
是永 真甫

臨床研修センター 木内 朝海
臨床研修センター 内田 直樹
臨床研修センター 山本 裕人

今までありがとうございました

■緊急手術や学会等への出席のため、急に休診となる場合や担当医師が変更となる場合があります。

2023年4月10日情報

※(初):初診、(再):再診、(予):予約、(紹):紹介 ※午後は予約のみ